

# 防災・減災対策の着実な推進

令和元年 1 1 月

【担当省庁】国土交通省

## 1. 直轄遊水地整備

大和川流域全体の治水安全度の向上を早期に図るため、安定的な工事推進

- ① **先行2地区**（川西町保田地区、安堵町窪田地区）の**早期完成**  
※概ね3年間で用地買収完了
- ② **先行2地区以外**（斑鳩町目安地区、三代川地区、川西町唐院地区）も、切れ目なく工事推進を図るため、優先順位を決めて**令和2年度から用地買収に着手**

### <直轄遊水地位置図>

大和川中流部の大和本川沿いに約100万㎡の遊水地整備を大和川水系河川整備計画（国管理区間）に位置づけ（H25年11月）



### 凡例

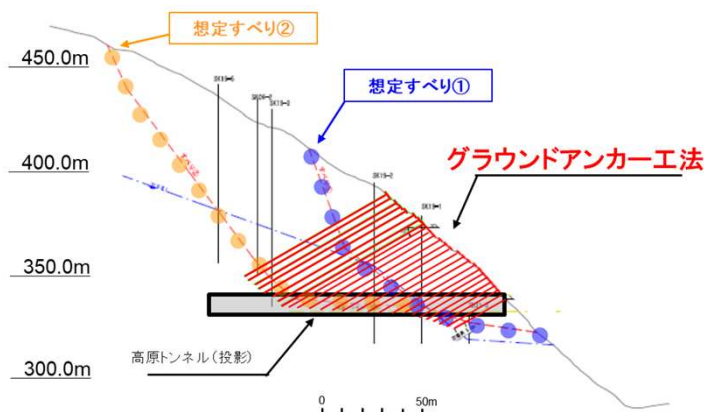
- ① 先行2地区
- ② 先行2地区以外

## 2. 国道169号高原トンネルの地すべり対策

4月の暫定開通後も地山の緩慢な変位が観測されており、大規模かつ複雑な地すべり移動に対し、厳重な監視を行いながら通行確保している状況。  
対策については、学識経験者の指導によりグラウンドアンカー工法等を予定しており、国の支援による早急な施工が必要。

- ⇒災害復旧事業の早期採択
- ⇒対策には高度な技術力を要するため、**令和2年度より国による施工着手**

### <高原トンネル断面図>



### <高原トンネル内クラック状況>



※応急対策後、4/17より通行止めを暫定的に解除中。  
現在も地すべりによる通行止めの可能性が継続。

【県担当部局】県土マネジメント部 河川課 砂防・災害対策課

# 中長期的な観点からの下水道経営

令和元年 1 1 月

【担当省庁】国土交通省

## 下水道の経営基盤の強化

市町村も含めた経営基盤の強化が重要な課題

- ・人口減少に伴う需要低下、老朽化に伴う更新費用の増大への対応が必要(令和3年度以降、現在水準の2~3倍の投資が想定)
- ・国庫内示の水準が現在程度の場合、令和9年頃に赤字転落の予想



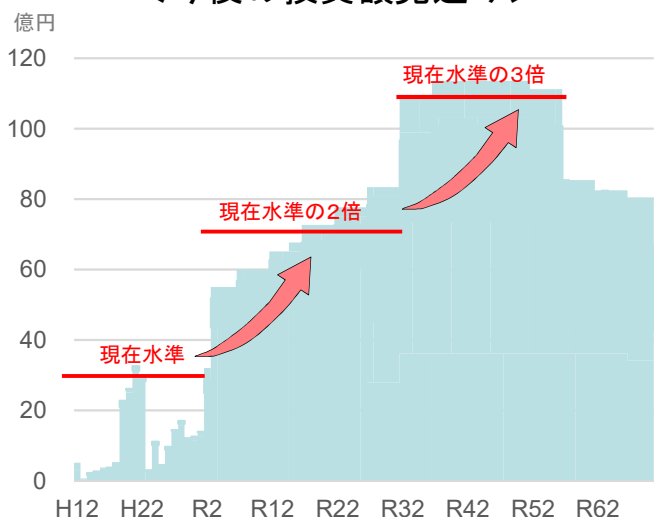
【経営基盤の強化のための検討事項】

- ・市町村管渠のダウンサイジング
- ・維持管理業務の市町村との共同発注
- ・流域処理場等のダウンサイジング
- ・汚泥の有効活用
- ・処理場運転の包括民間委託 等

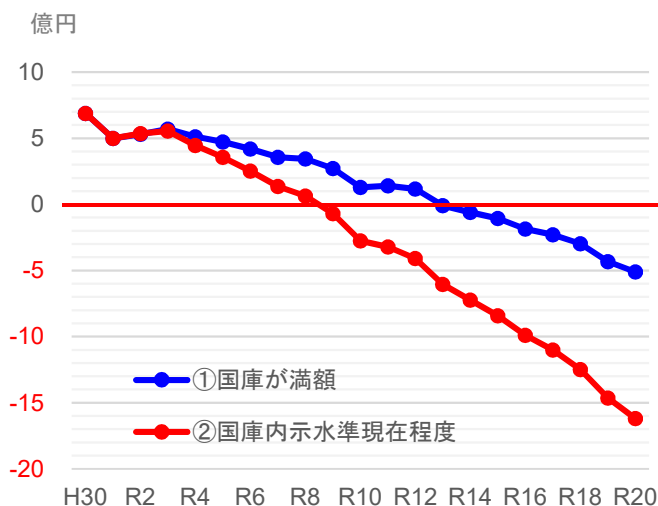
⇒ 更新需要の増大に対応する社会資本整備総合交付金の総額確保及び本県への重点配分

⇒ 経営基盤強化のための検討に対する技術的支援

＜今後の投資額見込み＞



＜収支見通し＞



目標耐用年数(標準耐用年数<sup>\*</sup>×1.5倍)での更新を想定

※標準耐用年数・・・機械・電気設備:平均約18.3年  
土木・建築施設:平均約31.4年  
管路施設 :平均約50.0年

- ① 国庫が満額  
令和13年頃に赤字転落
- ② 国庫内示水準現在程度  
令和9年頃に赤字転落